

造成、11年度以降へ

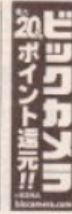
野鳥生息調査 愛知県が延長方針

愛知県企業庁とトヨタ自動車が開催。新たにミソゴイに詳しい専門家を検討会に加え、生息実態の把握や保全方法について意見交換する。

同庁は今年三月から予定地内二カ所、予定地外一カ所で計九羽のミソゴイを確認。環境省のレッドリストで近い将来絶滅の危険性が高い「絶滅危惧ⅠB類」に指定されるサギ科の渡り鳥だが、予定地内での生息実態が十分解明されていないため、来年四、八月の間の繁殖期を中心に再度、予定地と周辺

の造成作業は、少なくとも一年先送りされる。

同庁は、猛禽類のサシバなど、建設予定地内の貴重な動植物の保全に向けた「自然環境保全技術検討会」（座長・芹沢俊介愛知教育大教授）を来月七日に



中 田 乗 屋

2009年(平成21年)9月30日

トヨタテストコース造成延期

愛知県方針 ミソゴイ影響調査で

愛知県企業庁とトヨタ自動車が開催。同県豊田、岡崎市にまたがる地域で建設を計画中のテストコースで、同庁が、2010年度中の着工を目指していたコースの造成工事を11年度以降に延期する方針を固めたことが29日わかった。絶滅危惧種のサギ科の渡り鳥「ミソゴイ」が確認されたため、同庁は来年度、計画がミソゴイに及ぼす影響などを詳しく調査する。

同庁が今年5月から夏に行った調査で、建設予定地内の2カ所と予定地外の1カ所に計9羽の飛来が確認された。営巣状況などが十分に解明できなかったため、来年春から夏にかけての繁殖期を中心に、改めて調査する必要があると判断した。同庁は、「調査結果をまとめるのに来年度いっぱいかかるため、着工が11年度以降になることはやむを得ない」と話している。

2009年(平成21年)9月30日(水曜日)

専門家加え詳細調査

7日に2回目検討会

愛知県企業庁とトヨタ自動車が開催。豊田、岡崎市にまたがる地域で建設を計画中のテストコース予定地で、絶滅危惧種の渡り鳥「ミソゴイ」が見つかった問題で、同庁は30日、有識者による検討会に、新たにミソゴイに詳しい専門家を加えたと発表

検討会は「自然環境保全技術検討会」（座長＝芹沢俊介・愛知教育大教授）。7日に開く2回目の会合

で、今後の調査の進め方などを話し合う。

同庁の調査で、予定地とその周辺で、これまでにミソゴイの生息が確認されたほか、希少な猛禽類のサシバやハチクマ、オオタカの営巣が確認されている。

テストコースの造成は、同庁が2010年度中の着工を目指していたが、ミソゴイの影響調査のために、11年度以降に延期される。

2009年(平成21年)10月1日(木曜日)